

- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
**お金は人間を差別しない** 作家 嵐山光三郎
- 4 インタビュー／扉を開く  
**誇るべき日本の伝統とボランティアから生まれる  
 新しい文化を大切に**  
 九州国立博物館館長 三輪嘉六
- 9 地域の底力——早稲田  
**地域との連携を広げ、多角的な町づくりを目指す、頑張る商店会  
 「早稲田大学周辺商店連合会」を訪ねて**  
 東京都新宿区
- 16 対談／守・破・創  
**失敗を恐れるな、後ろを振り向くな、  
 前を向いてしっかり歩いていけ**  
 財団法人日本サッカー協会キャプテン（名誉会長）川淵三郎  
 日本銀行政策委員会審議委員 亀崎英敏
- 20 教えて！にちぎん  
**日本銀行の国際業務**
- 24 日本銀行の歴史からみた中央銀行の役割——上  
 日本銀行金融研究所企画役 鎮目雅人
- 28 日本銀行のレポートから  
**「決済システムレポート2009」—国際金融危機への対応と新たな取組み—**
- 32 トピックス
- 35 AIR MAIL from MANILA  
**マニラのショッピングモール**



## 表紙のことは

日本銀行鹿児島支店は、昭和十八年四月、二二番目（九州では北九州、熊本、福岡に次いで四番目）の支店として開設。営業開始時は鹿児島、宮崎両県に加え沖縄県も管轄（終戦とともに鹿児島、宮崎の両県となる）。太平洋戦争突入後、戦局は次第に悪化し、本土寸断という最悪の事態までも考えなければならなくなり、支店のないところに営業所を増設し備えることとなった。鹿児島支店開設はこのような事情によるものである。地元が資材面等で熱心に協力してくれたお陰で木筋作りの当時としてはなかなか立派な建物であった。昭和二十年の鹿児島市大空襲の際には、当店にも三十数発の焼夷弾が命中。市内の大半が戦災を被ったにもかかわらず、宿泊していた職員九名の決死の消火活動により店舗の焼失を免れ、営業を一日も休まなかった。この功績をたたえ今でも現営業所敷地内には記念碑が残っている。その後、戦災を免れた木造店舗は老朽化などから、昭和四十八年に現店舗がある上之園町の土地に新築移転することとなった。

